

主題：
ヨハネの繕う務め

メッセージ 10

三一の神の有機体としてのぶどうの木

聖書：ヨハネ15:1-17

- I. 枝々を伴うぶどうの木——御子にある信者たちを伴う子なるキリスト——は、神聖なエコノミーにおいて、神の豊富をもって成長し、また神の命を表現する、三一の神の有機体です—— I テモテ1:4. エペソ3:9. ヨハネ15:1-17 :
- A. 御子のしるしとしての真のぶどうの木の機能は、三一の神がご自身の神聖な命における拡張、拡大、栄光を現すことのために、御子の中で一つの有機体を持つことです——8, 16節。
- B. 農夫である御父は源また創設者です。子なる神は中心、具体化、現れです。霊なる神は実際また実際化です——1, 4-5, 26節 :
1. 御父であるすべてと御父が持っているすべては子なるキリストの中に具体化され、その後、実際であるその霊の中に実際化されています——16:13-15。
 2. その霊が持っているすべては、枝であるわたしたちの中へと造り込まれ、わたしたちを通して表現され、証しされます。このようにして、手順を経た三一の神は召会の中で表現され、現され、ご自身の栄光を現されます——エペソ3:16-21。
- C. ヨハネによる福音書第15章の三一の神の有機体は、三一の神と、彼の選ばれ、贖われ、再生された民とが結合され、ミングリングされ、合併されたものです——14:20 :
1. 父、子、霊は、弟子たちと互いに相互内在しています。なぜなら、三一の神と弟子たちは結合され、ミングリングされ、合併されて一となっているからです——15:4-5。
 2. 神のエコノミーの目標は、究極的に完成された神と再生された信者たちとの拡大された、宇宙的な神・人の合併です。
- II. 真のぶどうの木の枝として、わたしたちはキリストの拡張、キリストの複製、キリストの広がり、キリストの拡大です——4-5, 16節 :
- A. 無限の神であるキリストはぶどうの木であり、わたしたちはその枝です。わたしたちは無限の神の枝であり、彼と有機的に一です—— I コリント6:17。
- B. わたしたちは神聖なぶどうの木の枝であり、三一の神の有機体の一部分であるので、命と性質において神と同じです—— I ヨハネ5:11-12。
- C. わたしたちが主イエスの中へと信じたとき、彼はわたしたちの中へと枝を出し、わたしたちは彼にある枝となりました——ヨハネ3:15。
- D. わたしたちがぶどうの木の枝になるとは、キリストがわたしたちの命になるということです——11:25. 14:6. コロサイ3:4。
- E. ぶどうの木はその枝にとってあらゆるものです。ぶどうの木から、ぶどうの木を通して、わたしたちは枝として生きるために必要なすべてのものを受け取ります——ヨハネ15:4。

F. ぶどうの木であるキリストはあらゆることを枝を通して行ないません。彼がいなければ、わたしたちは何も行なうことができず、彼もわたしたちがいなければ、何も行なうことができません——5節。

Ⅲ. ぶどうの木の枝であるわたしたちは、ぶどうの木の中に住む必要があります——4-5節：

- A. 主の中にいることは結合の事柄であり、主の中に住むことは交わりの事柄です—— I コリント1:9, 30。
- B. ぶどうの木であるキリストの中にわたしたちが住むことは、わたしたちがぶどうの木の枝であるという明確なビジョンを見ることにかかっています。いったんわたしたちがぶどうの木の枝であることを見るなら、わたしたちと主との間の交わりを維持する必要があります——ヨハネ15:2。
- C. クリスマン生活は主の中に住む生活です—— I ヨハネ2:24, 27-28. 4:13。
- D. 主の中に住むことは彼と一つ霊であることです—— I コリント6:17。
- E. わたしたちがキリストの中に住むことは、彼がわたしたちの中に住むこと条件です——ヨハネ15:4前半, 5前半。
- F. ぶどうの木から離れるなら、わたしたちは無であり、何も持っておらず、何も行なうことができません——5節後半。
- G. 枝がぶどうの木の中に住んではじめて、ぶどうの木は枝にとってあらゆるものとなることができます。

Ⅳ. 枝は、神聖な分与において実を結び、御父の命の豊富を表現するためです——8, 16節：

- A. 召会の有機的な増し加わりは、真のぶどうの木の枝による実を結ぶことにおけるキリストの拡張です——5節前半。
- B. 実を結ぶことにおける神聖な命の豊富の表現を通して、枝には御父の栄光が現されます——8節。
- C. 8節の「栄光が現される」という言葉は、内側から解き放たれ、実の房の中に表現された意図、内容、命、豊富を持つことを意味します。

Ⅴ. 効果的な祈りは、わたしたちが主の中に住み、また彼の言葉がわたしたちの中に住むことから生じます——7節：

- A. わたしたちが主の中に住み、彼の言葉がわたしたちの中に住むとき、わたしたちの中に、彼の言葉から出てくる願いがあります。
- B. わたしたちは主の感覚に触れ、彼の意図を理解します。その時、わたしたちは自然に、わたしたちの中に彼の願いを持ちます。
- C. 彼の願いはわたしたちの願いとなり、彼の望むものはわたしたちの望むものとなって、わたしたちはこの願いにしたがって祈るでしょう。
- D. 主はこのような祈りに答えます。なぜなら、それはわたしたちが主の中に住み、彼の言葉がわたしたちの中に住むことから生じるからです。

Ⅵ. わたしたちはぶどうの木であるキリストの中に住むとき、召会生活を持ちます—— I コリント1:2, 9, 30. 6:17. 12:27：

- A. 枝はぶどうの木と、また互いに一です——ヨハネ17:11, 21-23。
- B. わたしたちはキリストの中に住むとき、共同の枝の間のすばらしい交わりにあずかります。すべての枝の内なる命は一であり、この命はすべての枝を通して絶えず循

環すべきです——15:4-5. I ヨハネ1:7。

- C. 召会生活、からだの生活は、互いに愛し合う生活です。からだの生活は、愛の生活であり、また愛の中での生活です——ヨハネ15:12, 17. エペソ4:16. 5:2。
- D. わたしたちはミングリングされた霊の中で、すなわち、わたしたちの霊とミングリングされた命を与える霊であるキリストの中で生きることによってのみ、召会生活を持つことができます——I コリント15:45後半. 6:17. 1:2. 12:27。

© 2017 *Living Stream Ministry*